

2002 Summer ▶ 2003 Spring

データで見る 金沢大学

KANAZAWA UNIVERSITY AT A GLANCE

- 1 組織・沿革
Organization & Historical Chart
- 2 学生数
Number of Students
- 3 学生の住居・通学
Residence & Commute of Student
- 4 国際交流・外国人留学生
International Exchange
- 5 生涯学習
Lifelong Learning
- 6 科学研究費補助金
Grants-in-Aid for Scientific Research
- 7 産学官協力
Partnership between universities and industry
- 8 附属図書館
University Library
- 9 附属病院
University Hospital
- 10 附属学校
Elementary School, Junior High School, Kindergarten
- 11 卒業後の進路
Graduates & Career Paths
- 12 職員数
Number of Staff
- 13 歳入・歳出決算額
Finances
- 14 キャンパス面積
Area of Land



金沢大学を知って
いただくために、
14項目のデータを
グラフと表にしました。

※データは特別な記載がある場合を除き、平成14年5月1日現在のものです。

編集 / 金沢大学総務部企画広報室 TEL. (076)264-5024
所在地 / 〒920-1192 金沢市角間町 FAX. (076)234-4015
general_1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

このリーフレットの掲載内容及び最新のニュースなどについては、「金沢大学ホームページ」でもご覧いただけます。平成14年6月

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

金沢大学の基本理念・目標

人類の知的遺産の継承と革新を目指し、
地域と世界に開かれた大学。
未来を志向して変革し続ける大学。

どんな教育を行うのか？

課題探求能力を持った国際的教養人の育成
自らの学習意欲が満たされる大学

- 学際的・総合的視野を持った人材育成
- 課題探求能力の育成
- 学生の知的好奇心、自発的学習能力の育成
- 国際的に通用する多様な個性や能力の育成
- 世界に情報発信できる能力の育成

研究活動に関して どんな大学をめざすのか？

世界へ向けて情報発信する研究志向型の大学
卓越した知の創造拠点を目指して

- 国際的・先端的研究志向型の大学をめざす
- 総合的・学際的研究を推進する総合大学院
- 卓越した先導的・独創的研究の推進
- 国際的に卓越した知の創造的拠点をめざす

地域社会における 大学の目標は？

主体的に地域と交流するアカデミア
生涯学習と社会的連携・協力を推進する大学

- 地域住民や企業のニーズに応じた生涯学習
リフレッシュ教育の推進
- 地域社会への貢献
- キャンパスの開放
- 産業界等との連携促進
- 地域中心的アカデミアとしての貢献
- 情報の積極的な提供

国際化に向けての目標は？

地域から世界へ！
世界と交流し連携する大学

- 国際交流・国際協力の推進
- 国際交流協定の締結や国際共同研究の推進
- 世界に向けての情報の積極的な提供
- 国際的に評価される質の高い大学

附属病院を擁する 金沢大学の医療は？

社会的要請に柔軟に対応できる、
人間性を重視した高度先進医療の推進

- 脳・がん・循環器疾患・環境医学の分野を中心として世界をリードし、今後の医療の進歩と、地域や国民、国際社会の予防医学を含めた多様な要請に柔軟に対応できる、人間性を重視した高度先進医療の推進
- 超高齢化社会における医療の課題に対応

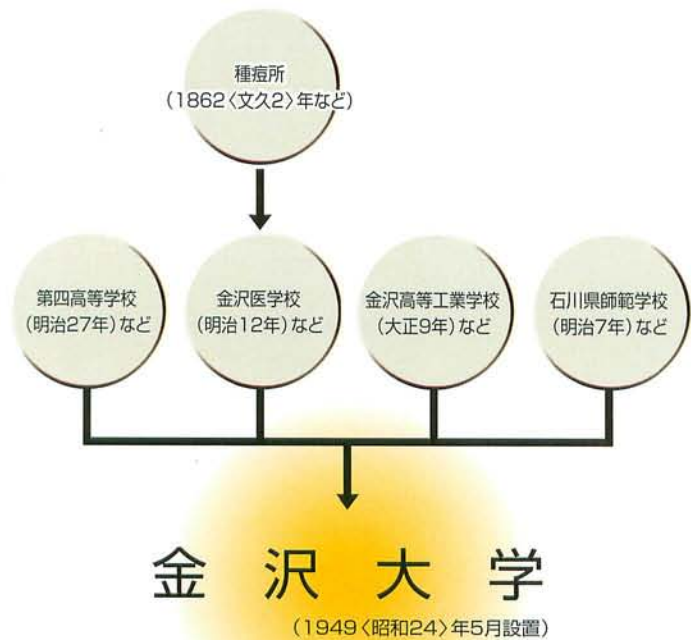
入学者の受け入れ方針は？

金沢大学の特色にふさわしい
能力・資質を持った意欲的学生の発掘

6つの目標

DATA 1 組織・沿革

8学部・7研究科・1研究所の総合大学。



【設置当初】



【現在】



- 金沢大学は明治7年創設の石川県師範学校など様々な学校の歴史と伝統を引き継ぎ、昭和24年5月に新制大学として発足。
- 現在は文・教育・法・経済・理・医・薬・工の8学部のほか、大学院7研究科、がん研究所などで構成されています。
- 本学には、日本の総合大学としては唯一、小・中・高・養・幼稚園の5校園（教育学部附属学校園）があり、幼稚園から大学院博士課程までの教育を行っています。

DATA 2 学生数

約11,000人が主要3キャンパスを中心に在籍。約3分の1が女子学生。

- 金沢大学には金沢市の人口（約45万7千人）の約2.3%に相当する10,732人が角間、宝町、小立野の3キャンパスを中心に学んでいます。平成14年度学部入学者の場合、北陸3県からの出身割合は43.4%です。（うち過半数＜全体の23.4%＞が石川県）
- 女子学生の総数は3,666人で、10年前（平成4年）の25.5%から34.2%に増加しています。生涯学習関係の“社会人入学者”についてはDATA5に、附属学校園（5校園）の園児・児童・生徒数についてはDATA10に掲げてあります。
- 2,903人の学生が各種奨学金を受けています。（平成14年1月現在）

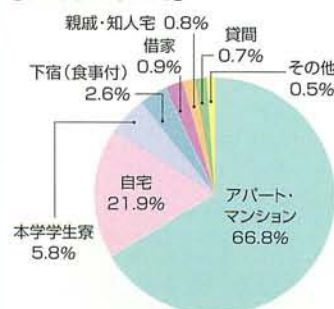


DATA 3 学生の住居・通学

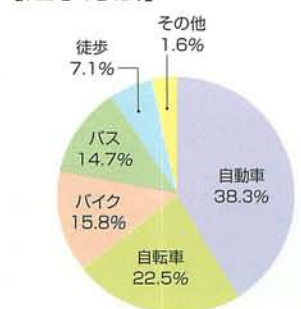
住居はアパート・マンション。
通学時間は30分以内。

- 学生の住居の状況は、アパート・マンションがもっとも多く、全体の2/3を占めています。なお、本学学生寮は、3寮（男子2、女子1）設置されており、定員は754人、入居率は65.4%です。
- 学生の通学時間（春～秋）は、70%が30分以内で通学しています。
- 学生の通学方法（春～秋）は、自動車38%、自転車23%、バイク16%、バス15%、徒歩7%です。冬の場合、積雪のためバス37%、徒歩19%と倍以上に増加し、反面、自転車2.4%、バイク1.9%と約1/10に減少します。自動車は冬も38%で1年を通じて一番高い比率は変わりません。

【住居の状況】



【通学方法】



D A 4 国際交流・外国人留学生
T A

22か国1地域62機関と交流協定締結。
外国人留学生は340人。

【国際交流協定締結先機関(大学・研究所等)数】

国・地域名	オーストラリア	中国	チェコ	エジプト	フィンランド	フランス	ドイツ	インド
大学間交流	3	6	1	1	2	2	2	1
部局間交流	1	6				1		
(本学の協定締結部局)	工	文=1 経済=1 理=1 医研=1 薬=1 工=1				工		
国・地域名	インドネシア	アイルランド	ケニア	韓国	モンゴル	フィリピン	ポーランド	ロシア
大学間交流		1		2			1	2
部局間交流	1		1	4	1	1		5
(本学の協定締結部局)	理		医研・医	法研=1 理=1 工=1 がん研=1	がん研	理		経済=2 理=2 医=1
国・地域名	シンガポール	スロバキア	タイ	イギリス	アメリカ	ベトナム	台湾	計 22か国 1地域 62機関
大学間交流		1	2	2	5		1	35
部局間交流	1		1	1	2	1		27
(本学の協定締結部局)	理		理	文	文=1 附小=1	附 養		

【大学間交流協定締結先機関の一覧】

1966. 1.20 【アメリカ】ペンシルバニア大学(フィラデルフィア)	1999. 3.20 【中国】ハルビン医科大学(ハルビン)
1974. 6.12 【アメリカ】ニューヨーク州立大学バッファロー校(バッファロー)	1999. 7.16 【タイ】チュロンコン大学(バンコク)
1976. 9.21 【フランス】ナンシー第一大学(ナンシー)	1999. 9. 1 【インド】ブネー大学(ブネー)
1976. 9.21 【フランス】ナンシー第二大学(ナンシー)	1999. 9.14 【中国】北京師範大学(北京)
1991. 6. 6 【アメリカ】ウィリアムズ大学(ウィリアムズバーグ)	1999.10.13 【ドイツ】レーゲンスブルク大学(レーゲンスブルク)
1991.10. 4 【イギリス】リバプールジョンモアズ大学(リバプール)	2000. 3.16 【オーストラリア】ロイヤル・メルボルン工科大学(メルボルン)
1991.10. 8 【イギリス】シェフィールド大学(シェフィールド)	2000. 3.20 【オーストラリア】グリフィス大学(ブリスベン)
1991.10.14 【アイルランド】ダブリンシティ大学(ダブリン)	2000. 3.24 【エジプト】アシュート大学(アシュート)
1993. 9.14 【ドイツ】ジーゲン総合大学(ジーゲン)	2000. 4.21 【タイ】モンクット王工科大学トンブリ校(トンブリ)
1995. 9. 4 【チェコ】カレル大学(プラハ)	2000. 8.11 【中国】北京工業大学(北京)
1996.12.27 【アメリカ】タフツ大学(メドフォード)	2000. 8.16 【台湾】国立台湾師範大学(台北)
1997. 1.22 【中国】蘇州大学(蘇州)	2000. 8.17 【ポーランド】ルブリン工科大学(ルブリン)
1998. 4. 2 【中国】華西医科大学(成都)	2000. 8.21 【フィンランド】ヘルシンキ工科大学(ヘルシンキ)
1998. 4.16 【韓国】東亜大学校(釜山)	2000. 8.23 【スロバキア】スロバキア工科大学(ブラチスラヴァ)
1998. 8. 5 【アメリカ】ニューヨーク州立大学ニューボルク校(ニューボルク)	2000. 9.26 【韓国】釜山国立大学校(釜山)
1998. 8.24 【オーストラリア】オーストラリア国立大学(キャンベラ)	2000.11.22 【ロシア】ロシア科学アカデミー極東支部
1998. 9. 3 【ロシア】国立カザン大学(カザン)	2001. 3. 8 【中国】大連大学(大連)
1998.12.17 【フィンランド】ユバスキュラ大学(ユバスキュラ)	

■金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界43か国・地域からの計340人です。うち、82.1%に当たる279人がアジアからの留学生です。中でも、中国からの留学生が一番多く、169人を数えます。

■協定校からの受入留学生は約50人、金沢大学から協定校への派遣留学生は10数人に及んでいます。

D A 5 生涯学習
T A

535人の“社会人”が入学。
幅広い年齢層を受け入れ。

- 金沢大学では生涯学習振興などの観点から、一般の学生以外に職業人や主婦などを積極的に受け入れています。
- これに関する制度としては、正規学生(大学院)に係る「社会人特別選抜」、特定の科目について学習する「科目等履修生」、ある分野について深く研究する「研究生」、一般市民が興味のあるテーマの講座を受講する「公開講座」、民間企業の研究者などを受け入れる「研究員」などがあります。
- 近年特に、幅広い年齢層の社会人がいろいろな形で金沢大学で学習・研究しています。

平成13年度

【社会人入学者の年代別内訳】 総計535人



104人 正規学生 (平成14年度入学)
192人 科目等履修生・研究生など (平成14年6月現在)
227人 公開講座受講生
523人 合計
12人 共同研究員・受託研究員

* 科目等履修生など：外国人留学生を除く。
* 公開講座受講生：特定受講生を除く。

DATA 6 科学研究費補助金

採択件数**430件**。10億**9,494万円**。
(平成14年6月現在)

- 科学研究費補助金は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の研究基盤を形成するための重要な経費です。
- 交付事務は、文部科学省及び日本学術振興会で行われています。
- 5年前に比べ採択件数は32%増、金額は86%増です。(平成13年度実績分)

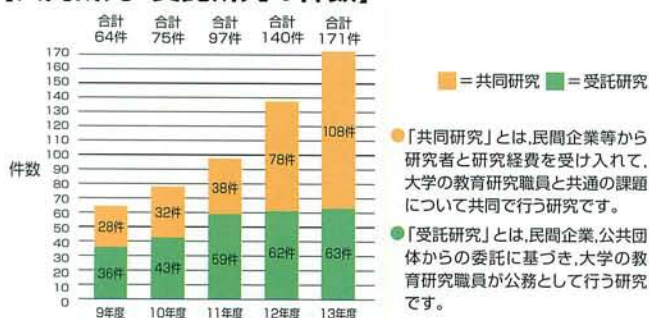
【科学研究費補助金】



DATA 7 産官学協力

民間企業と**171件の**
共同研究・受託研究を実施。

【共同研究・受託研究の件数】



- 金沢大学では平成13年度に、共同研究108件、受託研究63件、合計171件を実施しました。

- 産官学協力推進のため、かくま角間キャンパスに共同研究センターが設置されており、次のような業務を行っています。

1. 民間企業等との共同研究、受託研究の推進及び実施
2. 民間企業等の技術者に対する技術教育の実施及び援助
3. 民間企業等からの研究開発等に関わる技術相談
4. 民間企業等及び地域社会への学術情報の提供
5. 民間企業等及び地域社会への研究成果の還元
6. 大学院生に対する実際的な応用教育の実施

DATA 8 附属図書館

蔵書数は約**157万冊**。
インターネットで蔵書検索可能!
(平成14年4月現在)

【蔵書総数】



【学外利用者数】



- 金沢大学附属図書館は、かくま角間キャンパスの中央図書館のほか、こたつの医学部分館(宝町キャンパス)、工学部分館(小立野キャンパス)の3館で構成されています。これらの蔵書総数は和書約95万冊、洋書約62万冊合わせて約157万冊、雑誌約3万2千種にのぼっています。

- 蔵書の中には、あけがらすはや故・あけがらすはや暁烏敏師寄贈の「あけがらすはや暁烏文庫」、古代漢語に関する資料を集めた「あけがらすはや鈴木文庫」など貴重なコレクションがあります。

- 市民への開放も積極的に実施しており、金沢市の玉川・泉野両図書館と協力関係を結び、相互に図書館を通して図書資料の貸借を行っています。また、インターネットにより学外からも蔵書検索(全蔵書の53%)ができます。

(<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>)

更に、中央図書館の蔵書に限り、教育・研究に支障のない範囲で貸し出しできます。

D A 9 附属病院
T A

ベッド数合計**832**床。
1日平均患者数は**2,436**人。

- 医学部附属病院には内科、外科のほか核医学診療科など計16診療科があります。医学部附属病院は特定機能病院、救急病院などの指定を受けています。
- 病院には看護師421人を含む合計768人(専任のみ)のスタッフが対応しています。
- 医学部附属病院がある宝町キャンパスは、再開発に向けての工事が進み、平成13年度にがん研究所附属病院を統合の上、病棟も新築し、新しい病院に生まれ変わりました。

平成13年度

病 院 名	診療科数	ベッド数	診 療 状 況			
			外 来		入 院	
			延患者数	1日平均患者数	延患者数	1日平均患者数
医学部附属病院 <small>たからまち (宝町キャンパス)</small>	16科	832床	412,581	1,684	274,621	752人

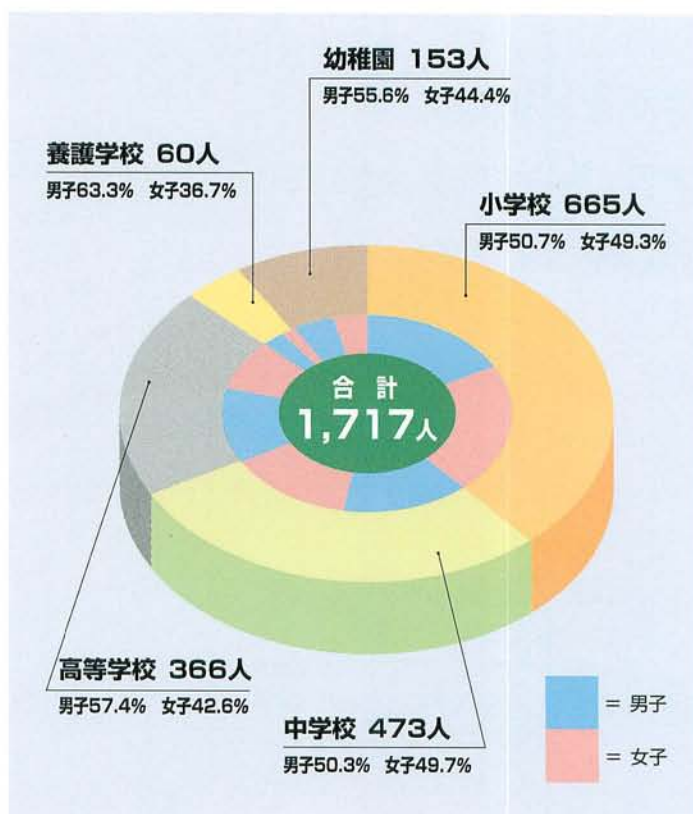
※ 外来診療日数245日

【病床数】

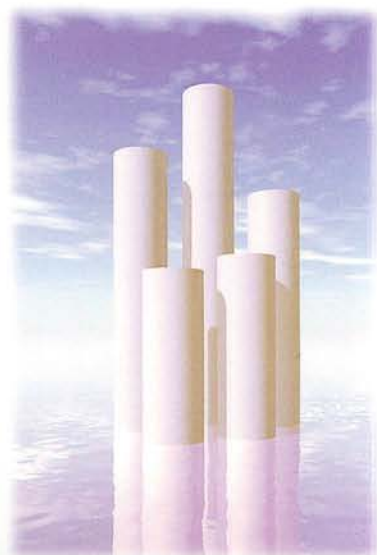
臓器別診療科等名	合計(床)		
消化器内科	61	整 形 外 科	53
内分泌・代謝内科	35	泌 尿 器 科	32
リウマチ・アレルギー内科	20	眼 科	41
呼吸器内科	19	耳 鼻 咽 喉 科	40
循環器内科	29	産 科 婦 人 科	30
腎 臓 内 科	22	麻 酔 科 蘇 生 科	4
血 液 内 科	29	脳 神 経 外 科	35
神 経 内 科	20	核 医 学 診 療 科	2
神 経 科	14	歯 科 口 腔 外 科	10
精 神 科	46	周 産 母 子 セ ン タ ー	16
小 児 科	26	N I C U	3
放 射 線 科	16	R I 病 床	6
皮 膚 科	29	I C U	6
消化器外科	87	C C U	2
心臓血管外科	25	高 密 度 無 菌 治 療 部	4
内 分 泌 外 科	20	術 後 重 症 回 復 室	14
呼 吸 器 外 科	25	共 通 病 床	6
小 児 外 科	5	合 計	832

D A 10 附属学校
T A

高等学校を含め**5**校園を設置。
園児・児童・生徒は総計約**1,700**人。

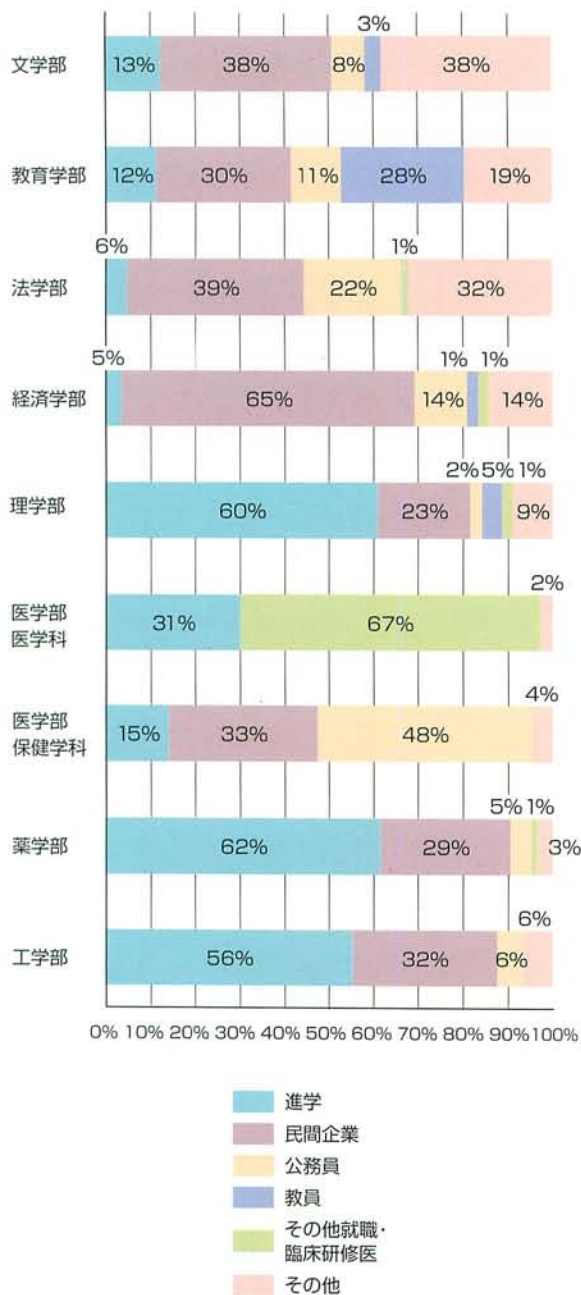


- 金沢大学には教育学部附属学校として、明治8年開設の石川県師範学校附属小学校の伝統を受け継ぐ小学校をはじめ、中学校、高等学校、養護学校、幼稚園の計5校園が附設されています。
- 5校のうち、養護学校(東兼六キャンパス)を除く4校園は、平成7年度に平和町キャンパスに統合され、互いに関連をもった教育が行われています。
- これらの五つの附属学校で学ぶ園児・児童・生徒合計約1,700人に対し、109人の教諭・養護教諭により充実した教育が行われています。



学部卒業者の約3割が大学院へ。

【学部別進路状況(2002年3月卒業生)】



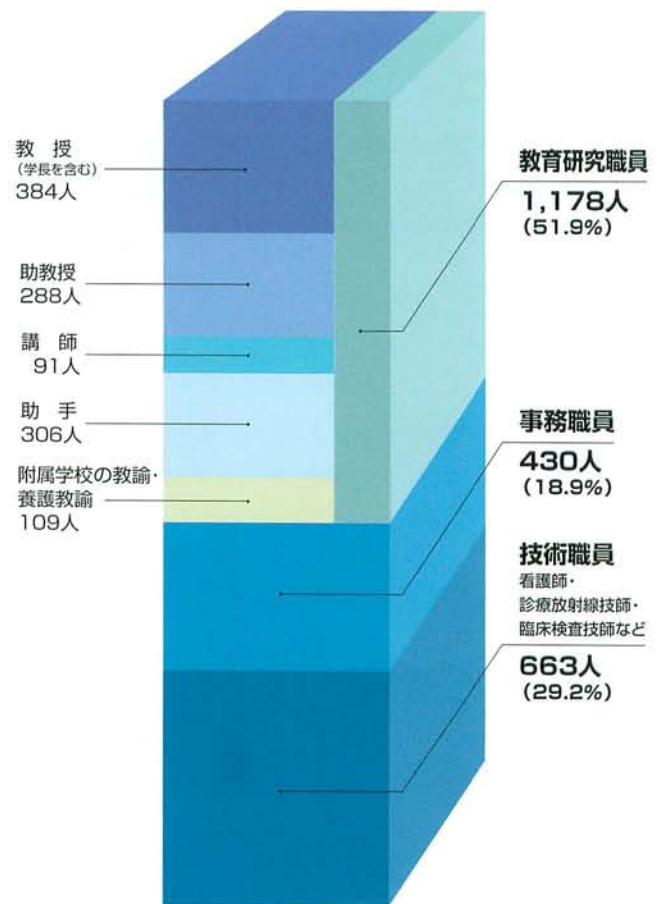
■ 学部卒業者の累計は61,880人に達し、社会の各方面で活躍しています。平成13年度学部卒業者の31%が大学院へ進学,52%が就職,17%(臨床研修医を含む)がその他となっています。大学院への進学率は高まる傾向にあり,特に理系学部の平均は47%となっています。

■ 就職する地域は,北陸三県43%(石川県26%),関東19%,東海18%,近畿10%,その他10%となっています。

■ 本学では,就職支援室を設置し,「就職ガイダンス」等の開催,「就職ガイドブック」の作成,ホームページの充実など,就職指導・支援の充実を図っています。

働くスタッフは2,271人。
うち女性が約840人。

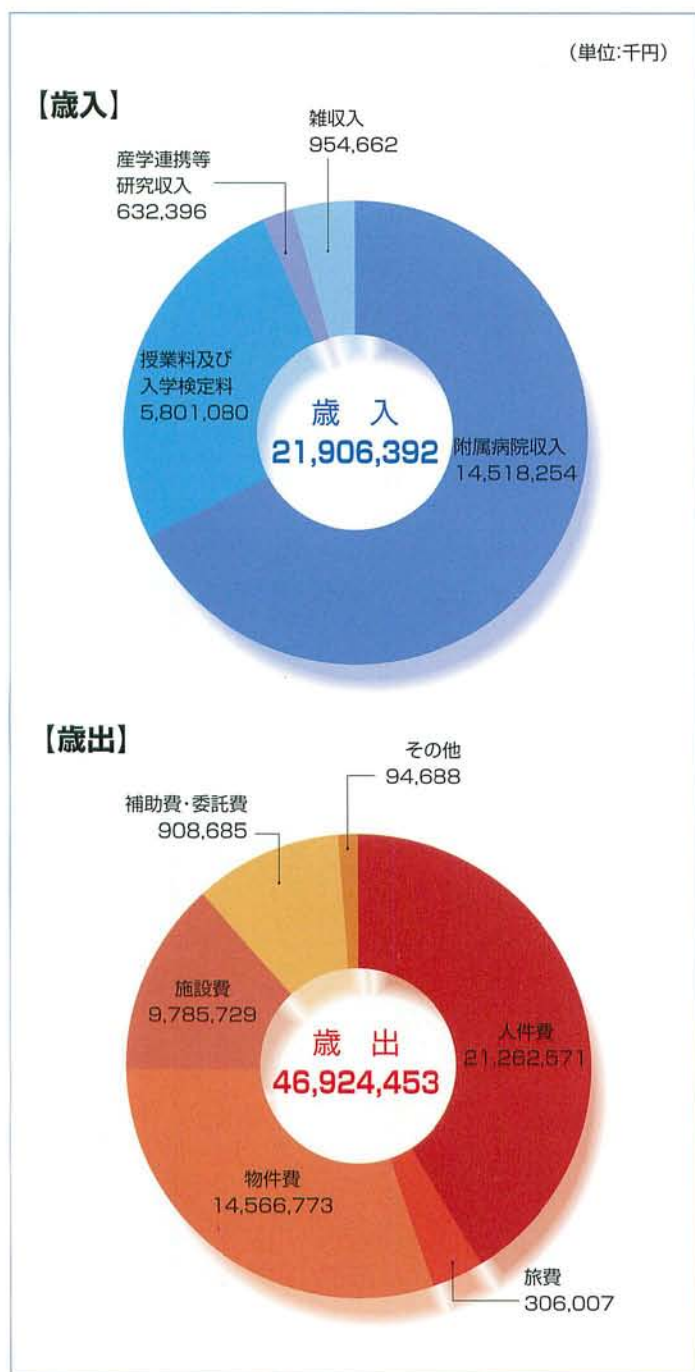
- スタッフ(専任のみ)の半分は教授をはじめとする教育研究職員,約2割が事務職員,約3割が技術職員となっています。大学は,教育研究機関という性格上,多くのスタッフを抱えているのが通例であり,金沢大学でもスタッフの総数は2,271人に及んでいます。
- 教育研究と同時に医療機関である医学部附属病院に勤務するスタッフの比率は高く,全体の約3分の1にあたる768人(専任のみ)が働いています。
- 教育研究職員のうち178人(15.1%),事務職員のうち170人(39.5%),技術職員のうち490人(73.9%)が女性です。合計では女性が838人(36.9%)を占めています。なお,教育研究職員のうち34人が外国人教員で全体の約2.9%に達しています。



職員数 合計 2,271人

D A 13 歳入・歳出決算額

歳入約219億円,歳出約469億円。
(歳出に対する自己収入の割合は47%)



■平成13年度の歳入決算額は約219億円でその主なものは附属病院収入約145億円(歳入総額の約66%),授業料及び入学検定料約58億円(歳入総額の約26%)となっています。産学連携等研究収入が約6億円(歳入総額の約3%)で、近年増加しています。

■金沢大学の平成13年度の歳出決算額は約469億円で、その主なものは人件費約213億円(歳出総額の約45%),研究費等の物件費約146億円(歳出総額の約31%)となっています。

■施設費は教育研究目的を実現するための施設整備のための経費であり、角間キャンパスでの総合移転第Ⅱ期計画事業及び宝町キャンパスでの医学部附属病院の再開発が進められており、約98億円(歳出総額の約21%)となっています。

D A 14 キャンパス面積

総面積は約264万m²。
金沢城公園の9倍。

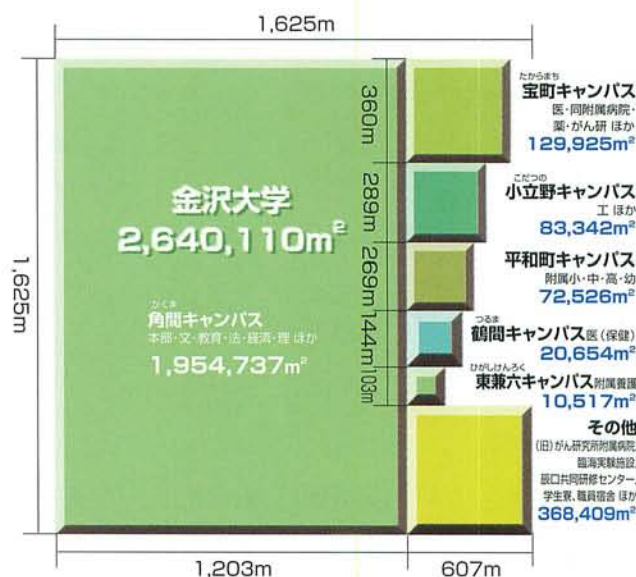
■金沢大学のキャンパス総面積は約264万m²にのびます。これは、金沢城公園の9個分に相当します。キャンパスのほとんどは金沢市内にあります。能美郡辰口町や珠洲郡内浦町などにもあります。

■角間キャンパスの約半分(南地区)は総合移転第Ⅱ期計画事業用地であり、近い将来、薬学部・工学部・がん研究所などが順次移転する予定です。

■宝町キャンパスでは、医学部附属病院の新病棟が完成し、これらを中心としてキャンパス全体の再開発が計画されています。

【各キャンパスの面積対比】

*各キャンパスの面積を比較しやすいように正方形(又は長方形)に置き換えてみました。



【比較例】

